

健康と光線

肌色を決めた紫外線

例年、紫外線が強くなる夏が近づくと、紫外線の害を強調する傾向が顕著になり、紫外線をカットするサンスクリーン(日焼け止め)のような化粧品を使わないと、真皮層のコラーゲンはずたずたになり、メラニン形成細胞は暴走して、シワやシミだらけの肌になると脅します。しかし年間を通して不足しがちなビタミンDを補うため、紫外線が強い夏こそ紫外線を浴びなければなりません。紫外線がビタミンDを生成する作用は20世紀の初頭に抗くる病効果で発見されましたが、その後、ビタミンDはカルシウム代謝を司る栄養素で、魚を除く食品では母乳を含めて必要量をまかなうことが難しいことが明らかにされ、

そのため母乳育児の乳児が紫外線を浴びないとくる病に罹患する機序が解明されたのです。

紫外線から肌を守りビタミンDを生成する、そのためアフリカで誕生した

人類は移り住んだ環境に適応して、黒人、黄色人種、白人と肌色を変えました。熱帯に住む黒人は強い紫外線から肌を守るため黒く、亜熱帯に住む黄色人種は紫外線による遺伝子の損傷を防ぐ防護層を作るため日差しが強い夏に日焼けしますが、北欧など紫外線の弱い地域に住む白人は日焼けをしません。このように肌色と紫外線は密に関係しているため、北

欧に移住した黒人の肌色は薄くなり、熱帯に移住した白人の肌色は濃くなったと言われています。

発行所
〒153-0063
東京都目黒区目黒
4-6-18

サナモア光線協会

年4回発行
会費年500円
電話 東京(03)
3793-5281
3712-5322

夏こそ紫外線の恵みを

ービタミンDの生成ー

サナモア光線協会
サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

紫外線は「お肌の大敵」?

紫外線がシワやシミの原因になると言う話を常識のレベルに押し上げ、紫外線を「お肌の大敵」にしたのは、化粧品メーカーが大々的にサンスクリーンを売り出してからです。

ところでシワの病名は老人性皮膚萎縮症です。すなわちシワの本質的な原因は老化に伴い真皮の線維芽細胞のコラーゲンの生成量が減るためです。シミの病名は老人性色素斑ですが、昨今、日焼けをするとメラニン形成細胞のDNAに傷がついてシミになり、皮膚癌になる、と言う類の話を信じる人が増えました。ここでは詳細には触れませんが、わが国では女性が化粧をする習慣を身につけた第二次大戦後に、シミの患者は激増したのです。その病因は化粧品の香料や石油化学成分が紫外線と反応して変性したためですが、化粧品メーカーは化粧品が関わることは伏せて一方的に紫外線に責任を転化するキャンペーンを繰り返し、ビタミンDを生成する大恩がある紫外線を「お肌の大敵」に仕上げたのです。

紫外線と共存共栄

紫外線は本当に「お肌の大敵」なのかと言えば、ノーです。今時大戦前の日本人女性は化粧をする習慣がなく日常生活で素肌に紫外線を浴びていましたが、ビタミンDを補いながらシワやシミになることもありませんでした。しかるに近年、サンスクリーンを使って日焼けを避けて美白を求める風潮が高まり、そのため、わが国の女性の50%がビタミンD不足状態に陥っている可能性が指摘されています。ビタミンD不足状態にならないため、紫外線と共存共栄してビタミンDを生成する恵みを受けることが肝要なのです。

夏季臨時休業のお知らせ

八月十三日(水)から十五日(金)まで夏季臨時休業致しますので、よろしくお願い申し上げます。

(株)東京光線療法研究所
サナモア光線治療院

一病息災 一病息災

悪性腫瘍概論

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

はじめに

悪性腫瘍「癌」は、身近な病気で、超高齢化社会に突入しつつある本邦においては、二人に一人が癌を患い、三人に一人は癌で亡くなっています。ですから、癌を死の病といったイメージで捉えている方が多いと思いますが、早期発見、早期治療により、治癒することのできる病でもあります。

今日まで、多くの研究者が、癌の発症から診断、治療に至るまでの研究に携わり、かなりの部分が明らかにされましたが、さらなる癌の解明と制圧には、癌細胞が、自分自身の身体の細胞を起源とすることが故の難しさがあるのです。

癌の発症要因

癌の発症には、生活習慣やウイルスの関与が分かっています。肝炎ウイルスによる肝癌、ヒトパピローマウイルスによる子宮頸がん、ヒロリ菌による胃癌等が、ウイルスによって引き起こされる癌として確認されて

います。

ハーバード大学の報告(1996)から、癌の原因と考えられるものを列挙します。

喫煙 30%、成人期の食事・肥満 30%、座りきりの生活様式 5%、職業要因 5%、癌家族歴 5%、ウイルス等の生物因子 5%、周産期要因・成長 5%、生殖要因 3%、飲酒 3%、社会経済的状況 3%、環境汚染 2%、他

癌の発生と消滅

ヒトの身体は、約60兆個の細胞からなり、それぞれの臓器において、形や機能も異なりますが、細胞には寿命があるため、遺伝子(DNA)をコピーして2

倍に増やしてから、新しい二つの細胞に分かれます。その際、遺伝子にコピーミス(突然変異)を生じることがあり、これが癌の発生原因となるのです。

この遺伝子に生じた突然変異は、小さなミスなら、DNA修復遺伝子によって、直ちに修復されますが、大きなミスの場合、

修復できず、細胞がコントロールを失った状態に陥ります。とくに、癌遺伝子、癌抑制遺伝子に突然変異が起ると、癌化は促進されることとなりますが、正常な細胞がいったん癌細胞に変身すると、不老不死の細胞となります。

正常なヒトの細胞は、50〜60回程度、細胞分裂を繰り返すと死に至る仕組みができています。DNAの末端にある、生命の回数券と呼ばれる「テロメア」が、細胞分裂のたびにすり切れ短くなっていくことで、細胞は死に至りますが、癌細胞は、テロメラーゼという酵素を作り、テロメアを再生することにより、巧みに死を避けているのです。

なお、ヒトの身体では、一日に数百億個の細胞の遺伝子がコピーされ、健康なヒトでも、毎日約5000個の癌細胞が発生し消えているのですが、このうち1個の癌細胞が、分裂を繰り返して増殖し始め、癌細胞が約100万个に達すると1mm程度の大きさとなり、約10億個まで増殖すると1cm程度の大きさとなります。

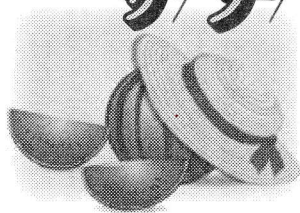
癌とリンパ球

体内においては、免疫を司るリンパ球が癌細胞を攻撃する役目を担いますが、癌細胞は、元々が自分の正常な細胞であり、遺伝子の変異は軽微なため、いつのまにか、「自己」から「非自己」へと変わっていきます。そのため、発生初期には、リンパ球は、ウイルスや細菌のように、癌細胞をはっきり「非自己」と認識することができず、まごついてる間に、癌細胞が増殖を続け、慌てて攻撃しても手遅れといった状態となってしまうのです。

癌と光線療法

リンパ球の働きには個人差がありますが、免疫細胞が弱っていると、癌細胞は増殖しやすく、常日頃から免疫力を高める努力が必要です。その点、サナモアには、リンパ球の働きを活性化し、自身のもつ免疫力を高める作用がありますから、癌を予防する意味においても、サナモアの活用が勧められます。

サ/ナ/モ/ア/便/り



vol.58

宇都宮 正範

第十九期

サナモア光線治療師
養成講座のお知らせ

サナモア光線治療師養成講座
は、予定通り、下記の日程で、
サナモア光線治療院会議室にて
開催致しました。

受講者紹介は次回10月号にて
掲載予定です。

開 講 日 程

6月26日(木)・27日(金)・28日(土)

講 座 内 容

- (1)医学総論・関係法規
- (2)サナモア光線療法の基礎と生物学的作用
- (3)光線治療器のメンテナンス法
- (4)ルーフ式・マルチアーク療法の実践
- (5)開院のための準備

資格取得者の特典

- (1)治療院を開業する際の指導
- (2)サナモアの名称使用
- (3)サナモア販売における代理店資格の取得
- (4)季刊紙「健康と光線」への治験例報告

第四十一回

「光と熱研究会」
のお知らせ

医療に関連した話題の講演や
治験例の報告を中心とした研究
会を開催していますので、一般
のご愛用者の方も是非ご参加下
さい。なお参加は無料です。

日 時：十月十八日(土)

午後二時三〇分

場 所：サナモア光線治療院
三階会議室

サナモア光線治療院

受診者の声

現在、多くの方が、サナモア
光線治療院にいられています。
全身照射の体験目的の方、自宅
での治療を補完する目的で月に
一回程度来られる方、治療院で
の治療を主とし週に数回来られ
る方など様々ですが、その方々
の貴重なご意見やご感想を、
「受診者の声」として掲載致し
ます。

☆56歳、女性

母親がサナモア愛用者で、自
宅にサナモアがあったため、光
線療法の良さは知っていたつも
りですが、今回は、本当にその
効果に驚き、感謝しています。

以前から、時々、右前の歯茎
が腫れ、痛むことがありまし
たが、腫れが強くなったため、歯
科を受診したところ、歯槽膿漏
と診断され、前歯を2、3本抜
く必要があるかもしれないと説
明されました。

驚いた私は、サナモアで治療
することに決め、光線治療院に

通い始めると同時に、自宅でも
口を大きく開いた状態で、毎日、
一時間以上、歯茎に直接光線を
照射しました。そのお陰で、歯茎
の痛みは和らぎ、数日で膿が出
て、腫れも引きました。歯を抜か
ずに済んで本当に良かったです。

一言、

知らない方も多いのですが、
歯周病に対して、サナモアはと
ても有効です。治療する際には、
口を大きく開けて口唇をめくる
ようにして、歯茎に直接照射し
て下さい。

◆ 募 集 ◆

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、
サナモア光線療法 of 普及に
ご協力頂ける方、治療院の
開業を検討なさりたい方は、
お問い合わせください

サナモア光線治療院

〒153-0063

東京都目黒区目黒1-23-11

TEL (03) 5759-3710

FAX (03) 5759-3720

治
験
例
報
告

サナモアで痛風を治療

神戸市 ウエノ光線療研

上野 健太郎氏報告

TEL 〇七八ー三三ー三三八

症例 53歳 男性 会社員

症状 二ヶ月程前、起床時に右足親指(第一趾)の付け根が激しく痛んだため、近医を受診し、血液検査を受けたところ、血清尿酸値が 11mg/dl と高値を呈しており、痛風発作と診断。薬物治療が開始され、痛みは若干軽減したが、腫れが、なかなかひかないため、サナモアで治療したいと来院。

療法経過 治療はBBカーボンにて、集光器を使用し、患部である右足親指第一趾の付け根を中心に、表裏、側面等、多方向から、合わせて60分以上照射。その後、ABカーボンにて、足裏、膝、背部を各10分、ADカーボンにて、腹部10分照射した。翌日来院した際には、治療前に残っていた患部の痛みは、ほぼ消失し、腫れもかなりひいていた。医師からは、血清尿酸値が

高い状態では、再発する可能性がある。必要と説明されており、サナモアで治そうと決め、四日目から自宅での治療を開始。

治
験
例
報
告

前頭部打撲をサナモアで治療

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子(旧姓前田)氏報告

TEL 〇九二ー五八一ー二〇三九
五七二ー二五七三

症例 65歳 女性

症状 サナモア愛用者。夜間、ジョギング中に転倒し、右前頭部を強打。帰宅後、打撲部位の痛みと腫れが強いため、サナモアの照射方法について、電話で相談された。

自宅治療に際しては、患部の他、基本照射部位、後頭部、前頭部(眼)にも、集光器を用い照射するよう指示した。その後、会社の診療所で行った血液検査で、血清尿酸値は 6.5mg/dl と正常値に戻っていた。二ヶ月が経過した現在は、痛みや腫れもなく、食欲旺盛で、熟睡もできており、仕事で疲れた時には、後頭部と前頭部を照射すると、翌日はこれまでにない程、すっきりとした気持ちになると話している。

全自動光線治療器

はつらつさんと
ジョイントカーボン

サナモアはカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するように、正面からカーボンをぶつける正面発光式を採用しています。そのため手動式のサナモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射にはご不便をお掛けしてきました。この点を改良したのが全

自動光線治療器ははつらつさんで、照射時間は5分刻みで60分まで設定でき、カーボンの消耗に合わせてジョイントでさるサナモアカーボンをつないでおけば、自動的にカーボンを送り安定した光線を放射します。

*

なお、はつらつさんご使用の際には、安全性を保ち、事故を未然に防ぐため、ジョイントカーボン以外のカーボンは絶対に使用しないで下さい。使用上の注意は、「はつらつさん取扱説明書」をご覧ください。

いかと質問を受けたため、このようなケースでは、一時的に腫れが拡がり、皮下出血も二週間は目立った状態が続くが、必ずよくなるから続けるよう指示した。なお、この時、一週間後に旅行が控えており、できたら行きたいと話していたが、その後の連絡で、サナモアを続けているうち、痛みと腫れがひいたため、何とか旅行に行くことができたことと喜ばれていた。また、こ

の間、病院での頭部の検査で、頭蓋内に異常のないことは確認している。

その後は、BCカーボンで治療継続していたが、患部が少しこぶ状に腫れあがったため、BDカーボンに変更するよう指示。一年後に来所した際は、前頭部の打撲部位はきれいに治っており、あらためて、打撲に対するサナモアの効果を実感したと話された。

療法経過 使用するカーボンは、BBカーボンの組み合わせとし、患部である前頭部をできる限り長時間照射するよう指示。数日後、患部は受傷直後より腫れて、赤黒い皮下出血が見られるが、このままサナモアを継続してよ

治
験
例
報
告

肺の結節性病変が

サナモアで消失

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

TEL 〇四一七三二五〇六七

症例 62歳 女性

症状 平成八年十一月、全身倦怠感、咳等の自覚症状が続いたため、病院にて精査を施行したところ、右肺中葉に結節性病変を指摘。肺癌が疑われ、手術による摘出を勧められたが、患者は、手術治療を拒否し、サナモアによる治療を希望され来院。来院時の問診にて、卵巣嚢腫、関節リウマチも合併していることが分かったため、合わせて治療することとした。

療法経過 治療は、BDカーボンの組み合わせにて施行。患部である右上背部(肺)には、4時間の照射を実施。その後、腹部、腰部、膝、肩に、各15分の照射

を施行した。病院での経過観察は欠かさなかったが、平成十年

十一月の検査で、右肺中葉に見られた結節影は消失していた。その後、サナモアを継続しているが、関節の痛みも改善し、冬場でも風邪をひきにくくなった現在、自宅にて、サナモアを継続しており、すごぶる健康な状態を維持できている。

治
験
例
報
告

腰椎圧迫骨折の痛みが

サナモアで劇的に改善

目黒区 サナモア光線治療院

東原 なつ子氏報告

TEL 〇三二五七五九一三七二〇

症例 84歳 女性

症状 帯状疱疹後神経痛の治療目的で当院通院歴のある方。自宅で立ち上がろうとしてふらつき、尻もちをついた際、腰に激痛を自覚。病院の検査にて、腰椎の圧迫骨折と診断され、治療を受けるも改善せず。腰の痛み

に加え、右大腿背部の痛みも強く、ほとんど動けない状態であったが、受傷後約一ヶ月が経過した頃、やっとのことで治療目的にて当院を受診。当初は腰の痛みが強く、一歩進むものにも、かなりの時間を要する程の状態であった。

サナモアカーボンの
類似品にご注意下さい

サナモアA(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印)カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともどもご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当研究所が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサナモアと同じと見せ掛けて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持たせませんので呉々もご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありましたらお問い合わせ下さい。

株東京光線療法研究所

療法経過 治療は、左側臥位にて、腰部(BD)、右大腿背部(BD)、膝(AB)、足裏(A

B)を30分照射後、右側臥位として、腰部(BD)、大腿(BD)、膝(AB)を30分照射。二、三日に一度のペースで治療を開始したところ、10回の治療後には、痛みがかなり緩和され、元氣を

取り戻し、15回の治療時点では、痛みもほぼ消失し、庭に出られるようになった。その後も治療を継続し、25回の治療後には、以前のように、すいすいと歩けるようになったと、目の前で喜んで歩いて見せ、最近では、骨を丈夫にする目的で通院されている。

温故知新

日光の避け過ぎが

病気をつくる

宇都宮 正範

先日、NHKの「あさイチ」という番組で、くる病という疾患を取り上げていましたが、ご覧になった方もいらっしゃるかと思います。

そもそも、くる病は、十七世紀の産業革命以降、英国で多発したため、英国病とも称され、

長らく治療法を解明できず、原因不明の奇病とされてきた疾患です。二十世紀に入り、ビタミンDの発見もあって、日光浴で治療できることが明らかとなり、今日では、過去の病気とされていたのですが、何故、最近、乳幼児のくる病が増え、テレビで取り上げられるまでになったのでしょうか。

それは、ずばり、表題にもある日光の避け過ぎが原因なのです。数年前から、母子手帳に記載されていた日光浴が削除され、

化粧品会社は、美白化粧品を盛んに宣伝し、皮膚科の先生は、紫外線を浴びると皮膚癌になると脅し、この季節にNHKは必ず紫外線情報を流します。まるで紫外線が、PM2.5に匹敵するかどうかのような悪者扱いです。

これでは、世のお母さん方が、紫外線を避けるようになるのに無理ありませんが、母乳には骨の成長にとって不可欠なビタミンDが十分含まれておらず、日光浴の避け過ぎから、ビタミンD欠乏を引き起こし、骨の発達障害をきたした結果、くる病やその予備軍の子供達が急増しているのです。

子供だけではありません。高齢者の骨粗鬆症や骨折も、骨の脆弱化が原因であり、日光浴を避ける風潮が関係しています。日光浴さえすれば、皮膚でビタ

ミンDが合成され、骨の成長を促すとともに、骨を強く丈夫にしてくれるのです。サナモアは、いつでも好きな時間に、室内でできる日光浴です。どうぞ、毎日のサナモアを習慣化することによって、骨折を未然に予防し、生活の質を保つようにして下さい。

人類の過去の苦い経験から、もう一度学び、今の愚かな紫外線バッシングが、本当に正しいことなのか、皆さんで考えて頂ければと願う次第です。

サナモア体験記募集

サナモア光線協会では、皆様からの体験記を募集しております。なお掲載させて頂いた方には、薄謝を贈呈致します。

サナモア体験記の投稿について、メールでの募集も開始いたしました。下記のアドレスまで、お気軽にご投稿をお願い申し上げます。

メールアドレス：

sanamore@hr.catv.ne.jp



サナモア光線協会

趣意書

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力を高めて病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、太陽光線に近似したフルスペクトル光線を放射するサナモア光線療法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、

一、季刊紙、「健康と光線」の発行

二、サナモア光線治療師の募集と育成の事業を行います。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

「健康と光線」の購読者を募集します。

また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL (03) 三七九三―五二八二
三七二一―五三三二

(本紙の無断転用を禁止します。)